

## 第8回長崎県子ども伝統芸能大会を開催しました

平成23年10月23日（日）、波佐見町総合文化会館を会場に「長崎県子ども伝統芸能大会」を開催しました。

午前中は、小中学生を対象にして、伝統文化のワークショップを行いました。波佐見町の小学生をはじめ、川棚町や佐世保市、諫早市、平戸市、西海市からの参加者もあり、伝統文化を楽しく学びました。

午後の舞台発表では、地域に伝わる伝統芸能の発表や日本舞踊の発表など、8団体のすばらしい演技が披露され、会場は惜しみのない拍手と熱気に包まれ、会場を訪れた観客の皆さんも大満足の大会となりました。

【伝統文化ワークショップ】10:30～12:00

今年度のワークショップは「華道」・「茶道」・「大正琴」の3種目を行いました。初めて体験することばかりで、最初はとまどっていた参加者も、講師の先生方の優しく、熱心な指導で楽しく取り組むことができました。

《ワークショップの様子》



開講式：学芸文化課課長のあいさつがありました。参加者の生き生きとした目の輝きに、課長のあいさつもはつらつとしていました。



参加者の皆さんからも参加してよかった、楽しかったという声がたくさん聞かれました。

華道：講師の先生お手製のオリジナルの手引きと先生のご指導で、みんな思い思いに工夫を凝らして、花を生けていました。

今回参加できなかったみなさんも、今後伝統文化に触れる機会があったら、どんどんチャレンジしてみよう。きっと新しい何かを発見できるよ。



大正琴：初めて大正琴を目にし、最初は緊張気味でしたが、時間がたつにつれ先生もびっくりするほどの上達ぶりでした。



茶道：お茶の立て方やいただき方はもちろん、礼儀作法なども学び、なれない正座にとまどいながらも、楽しく過ごしました。

【舞台発表】13:00～15:50

今年度の舞台発表は地元波佐見町をはじめ、長崎市や佐世保市、壱岐市、長与町、川棚町からの出演があり、それぞれの持ち味を生かした発表がありました。

出演団体 個人 :8団体  
壱州荒海太鼓保存会・風舞組Jr(和太鼓) (壱岐市)  
初音会花柳寿々初社中(日本舞踊) (長崎市)  
百津浮立保存会(浮立) (川棚町)  
籠町籠踊保存会(籠踊) (長崎市)  
長崎いろは会日本舞踊連盟(日本舞踊) (長崎市)  
野々川浮立保存会(浮立) (波佐見町)  
花柳流富顕の会(日本舞踊) (佐世保市)  
本川内琴の尾太鼓保存会(和太鼓) (長与町)

《舞台発表の様子》



開会式:主催者として秀島県教育委員長があいさつをしました。これから始まる演技への期待がいっぱい込められていました。



壱州荒海太鼓保存会・風舞組Jr:舞台最初の演技で緊張する中、堂々と元気に演技を披露しました。ステージいっぱいを使ったはつらつとした演技は、会場を大いに沸かせました。



初音会花柳寿々初社中:こどもたちの愛らしいぐさに、会場から温かいまなざしと、ほほえみが舞台にそそがれていました。会場がやさしさでいっぱいに包まれました。

百津浮立保存会: 300年以上続く伝統ある浮立の数ある演目の中から、座浮立を演じました。堂々としたのぼりや出で立ちは、伝統の重みを感じさせるものとなりました。



籠町龍踊保存会: 長崎くんちの名物「龍踊」は圧巻で、その迫りに会場からはどよめきが起こっていました。龍衆は大人でしたが、演奏する子どもたちは将来、龍衆になることを楽しみにしていました。



長崎いろは会日本舞踊連盟: 伝統的な日本舞踊の身のこなしやあでやかな着物に包まれたこどもたちの演技に、会場から温かい拍手が送られました。ほのぼのとした気持ちにさせてくれる演技でした。





野々川浮立保存会：地元の伝統芸能の出演で、会場は大いに盛り上がりました。特に、虎が出てきたときは、観客から驚きの声が上がリ、その動きも本物のようにとても迫力がありました。

花柳流富顕の会：たったひとりで舞台上で堂々と演じる姿に会場から惜しめない拍手が送られました。身の丈よりも長いさらしを両手で見事に操り、生き物を見ているような錯覚を観客に与えました。



本川内琴の尾太鼓保存会：大小さまざまな太鼓で構成された演技は、最後の締めくくりにふさわしい、力強い響きを会場にとどろかせ、大会は終了しました。